

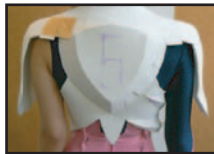
MAKING

真希波・マリ・イラストリアスverのプラグスーツが出来るまで。



01 試作品制作

設定資料をもとに仮の素材を使用し、おおまかなディテールを作る。この時に実際に着用し動き回る事や重さ、素材などを想定し仮組みを行い大よその形が出来たら細部を作り込んでいく。



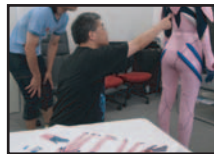
02 トワルチェック

01で完成した試作品を使用し、監修ミーティング。設定資料より更に詳しく細部の構造や角度、大きさなど様々な部分の修正箇所を明確にしていく。



03 修正

トワルチェックで出た修正箇所をガシガシ修正して、再監修を行います。ここで全体的な仕様がほぼ決まります。いわば「サンプル」の「サンプル」が完成です。



04 サンプル制作

03にて制作した試作品をもとに実際の商品と同じ素材を使用して製品サンプルを制作していきます。素材や色が入る事で、より商品に近いサンプルが出来上がったら再度、監修を受け修正を行います。

エヴァンゲリオン 新劇場版

05 ついに完成!

全ての行程を終え、商品が完成! ちなみにこのピンク色は設定上特殊なカラーなので今回は生地から作っております。



GAINAXさんに聞きました。

commented by GAINAX 版權部

監修をする際に重要視している部分を教えてください!

デザイナー(真本氏)が意図した設定を基に、素材や形状、色味などが忠実に再現されているかをチェックすると共に、アイデアを出し合いより良い物になるよう打ち合わせを致します。もちろん真本氏本人も立会いチェックする場合があります。また、実際に人が着用されるという部分が大前提ですので、実際の設定を曲げるという事ではなく、「着用したその時に一番映えるバランスにする」という部分を重要視しています。

■COSPATIOの衣装についての感想を一言

作るたびに進歩していて非常に素晴らしいと思います。着用したときの使用感などが良く想定されておりますし、ウレタンや硬質な素材などでパーツを表現される時も適材適所に素材を使って頂いており、表現力としても納得の出来る創りとなっていただいております。

■今後COSPATIOに期待される事を一言お願いします!

一重に素材の進歩ですよね! 柔軟で、薄く、発色がよくて、などなど想像すると夢のような素材ばかりになってしまってます!(笑)でも、コスバさんの場合は現在市場にある新しい素材や技術などを先んじて持って来て頂いているので非常に納得しています。また、それぞれの特性もあると思いますが、このプラグスーツのような服飾の範疇で取まらない部分のセンスは、流石に積み重ねて物づくりをしている技術だなと思いますので、今後も頑張ってください!